

系	統	2液無溶剤型エポキシ樹脂系プライマー
特	長	1) 鋼材に対する接着性に優れている。 2) 鋼床版に塗布することで、錆の発生を抑える。
用	途	1) 鋼床版橋梁の疲労耐久性向上技術に関する共同研究(その2・3・4)報告書 独立行政法人土木研究所 共同研究報告書 整理番号第395号 平成21年10月 打継接着剤「ショーボンドSB」の専用プライマー
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 7：3 (重量比)
荷	姿	10kg (主 剤／7.00kg、硬化剤／3.00kg)
外	観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…黄色透明液状 混合物…黄色透明液状

可使時間の目安・塗布間隔

タ イ プ		冬用 (W)			夏用 (S)		
温 度 [°C]		5	10	20	10	20	30
可 使 時 間 [分]		140	130	40	200	90	40
塗布間隔	最短[時間]	32	30	13	37	17	11
	最長[日]	7	7	7	7	7	7

※可使時間：主剤、硬化剤の混合開始から塗布作業ができなくなるまでの時間。

※塗布間隔：打継接着剤「ショーボンドSB」の塗布可能時間。

比	重	1.15±0.05 (硬化物)
標	準 使 用 量	0.15 kg/m ²
貯	蔵 保 証 期 間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防 法 に よ る 危 険 物 区 分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類
毒	物 及 び 劇 物 取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当する
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー、刷毛などで塗布する。
使	用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去) 2) 接着面に浮き水がある場合は、浮き水を除去し、乾燥させる。 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 可使時間内に塗布作業を終了する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。 |
|--|